



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社Kaizen Platform 上場取引所 東
コード番号 4170 URL <https://kaizenplatform.com/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員CEO (氏名) 須藤 憲司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 朝井 秀尚 TEL 03-5909-1151
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,256	△3.8	68	—	76	—	55	—
2024年12月期第3四半期	3,385	6.2	△30	—	△21	—	△51	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △12百万円 (—%) 2024年12月期第3四半期 △34百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	3.30	3.24
2024年12月期第3四半期	△3.03	—

(注) 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,234	2,951	69.7
2024年12月期	4,418	2,957	66.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 2,951百万円 2024年12月期 2,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,550	100.6	230	100.2	10	—	0	—	△30	△1.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用+貸倒引当金繰入額

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期3Q	17,016,481株	2024年12月期	16,965,231株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	4,068株	2024年12月期	3,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期3Q	16,981,689株	2024年12月期3Q	16,904,584株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復することが期待されています。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国経済における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、アメリカの今後の通商政策、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

インターネット広告の市場規模は3兆6,517億円となり、「新聞広告費」「雑誌広告費」「ラジオ広告費」「テレビメディア広告費」を合計した「マスコミ四媒体広告費」の2兆3,363億円を大きく上回り(注1)、日本国内のDX市場は中長期的な拡大を続け、2030年には6兆5,195億円の規模にまで成長すると予測されています(注2)。また、人材不足の課題はより一層深刻になることが予想され(注3)、DXの実現が企業の事業継続の根幹に関わる時代が訪れようとしています。このように、事業変革をもたらすマーケティング領域でのDXが重要性を増す中、当社グループが提供する、デジタル上の顧客体験を改善して事業成長を支援する「攻めのDX」のニーズもますます高まると想定され、当社グループの事業機会はさらに拡大していくものと考えています。

このような経営環境の中、当社グループは、グループシナジーの追求や商品ラインナップの強化、クロスセルの強化など顧客単価向上に向けた取り組みを行いました。特に、生成AIの登場によって、「顧客体験」と「業務プロセス」のDXをAIが接続する時代が到来しようとしており、DXの費用対効果を飛躍的に向上できる可能性が高まりつつあり、当社グループにおいてもそうした動向をいち早く捉え、「ワンストップで解決できる」体制の整備に努めてまいりました。2024年10月には、当社グループでこれまで培ったノウハウと技術を結集し、生成AIを活用した新たなAIサービスラインナップの提供を開始しました。また、子会社である㈱ディーゼロにおいては、アクセシビリティへの取り組みを強化し、コーディングガイドラインの提供や、行政や自治体でのWebアクセシビリティ対応を担当するなど、アクセシビリティ分野でのポジションを高めつつあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,256,822千円(前年同期比3.8%減)、営業利益68,049千円(前年同期は営業損失30,692千円)、経常利益76,056千円(前年同期は経常損失21,090千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益55,968千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失51,240千円)となりました。

出典 (注1) ㈱電通「2024年 日本の広告費」

(注2) ㈱富士キメラ総研「2024 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」

(注3) 内閣府「令和5年版高齢社会白書」

セグメント別の成績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」をご参照ください。

① プロフェッショナルセグメント

プロフェッショナルセグメントは、コンサルティング、クリエイティブ制作、BPO、SESなどの専門サービスを通じて、企業のDX推進を総合的に支援しております。多様なDX人材をプロジェクトごとに最適にアサインし、戦略設計から実行フェーズまで一貫した伴走体制を構築し、高い専門性と柔軟性を兼ね備えた支援により、顧客課題の解決と事業成長に貢献しております。当第3四半期連結累計期間においては、クロスセルによる顧客単価の向上が堅調に推移したものの、インシデント等による契約更新の遅延及び大手顧客への注力により取引アカウント数が減少し、業績に影響を及ぼす結果となりました。

この結果、売上高は2,929,386千円(前年同期比6.9%減)、セグメント損失は26,557千円(前年同期はセグメント利益7,048千円)となりました。

②クラウドセグメント

クラウドセグメントは、当社独自のクラウドサービスを通じて、Webサイトや業務ツール、コミュニケーションプラットフォーム上での顧客体験の最適化を支援しております。タグの設置のみで導入可能な仕組みにより、生成AIを活用したA/Bテスト、パーソナライズ、スマート検索、多言語対応など、UX改善を迅速かつ柔軟に実現します。レガシーシステムへの影響を最小限に抑え、事業部門主導でのDX推進を可能とする点が特徴です。当第3四半期連結累計期間においては、顧客単価及び取引アカウント数ともに向上し、売上が伸長しております。

この結果、売上高は327,435千円(前年同期比37.6%増)、セグメント利益は94,606千円(前年同期はセグメント損失37,740千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、4,234,014千円(前連結会計年度末比184,484千円減)となりました。これは主に、現金及び預金が84,553千円、受取手形、売掛金及び契約資産が65,882千円減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,282,938千円(前連結会計年度末比178,088千円減)となりました。これは主に、長期借入金が148,689千円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,951,076千円(前連結会計年度末比6,396千円減)となりました。これは主に、利益剰余金が55,968千円増加した一方で、為替換算調整勘定が70,221千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月14日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,911,348	2,826,794
受取手形、売掛金及び契約資産	668,755	602,872
その他	124,022	94,512
貸倒引当金	△26,961	△5,993
流動資産合計	3,677,165	3,518,186
固定資産		
有形固定資産	22,028	24,932
無形固定資産		
ソフトウェア	7,439	4,209
のれん	532,119	478,947
その他	25	9
無形固定資産合計	539,584	483,166
投資その他の資産		
投資有価証券	94,539	116,189
繰延税金資産	40,063	44,620
その他	45,118	46,918
投資その他の資産合計	179,721	207,729
固定資産合計	741,334	715,828
資産合計	4,418,499	4,234,014
負債の部		
流動負債		
買掛金	339,492	327,891
1年内返済予定の長期借入金	202,412	198,252
未払法人税等	42,236	20,964
その他	164,586	172,220
流動負債合計	748,727	719,328
固定負債		
長期借入金	712,299	563,610
固定負債合計	712,299	563,610
負債合計	1,461,026	1,282,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,773,804	1,777,072
資本剰余金	3,529,004	3,532,271
利益剰余金	△2,704,754	△2,648,785
自己株式	△67	△76
株主資本合計	2,597,987	2,660,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	1,330
為替換算調整勘定	359,484	289,263
その他の包括利益累計額合計	359,484	290,593
純資産合計	2,957,472	2,951,076
負債純資産合計	4,418,499	4,234,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,385,075	3,256,822
売上原価	2,371,817	2,197,932
売上総利益	1,013,258	1,058,889
販売費及び一般管理費	1,043,950	990,840
営業利益又は営業損失(△)	△30,692	68,049
営業外収益		
受取利息	25,561	13,976
投資事業組合運用益	-	9,321
助成金収入	293	-
その他	4,890	2,610
営業外収益合計	30,744	25,908
営業外費用		
支払利息	5,910	9,709
為替差損	2,699	2,387
投資事業組合運用損	7,467	-
支払手数料	3,032	5,035
その他	2,032	769
営業外費用合計	21,143	17,901
経常利益又は経常損失(△)	△21,090	76,056
特別利益		
固定資産売却益	2,235	240
特別利益合計	2,235	240
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,855	76,296
法人税、住民税及び事業税	25,333	25,472
法人税等調整額	△1,538	△5,144
法人税等合計	23,795	20,328
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,650	55,968
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,589	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△51,240	55,968

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,650	55,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	1,330
為替換算調整勘定	7,980	△70,221
その他の包括利益合計	7,980	△68,891
四半期包括利益	△34,670	△12,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43,260	△12,922
非支配株主に係る四半期包括利益	8,589	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書 計上額(注)
	プロフェッショナル	クラウド	計		
売上高					
一時点で移転される財	573,822	-	573,822	-	573,822
一定の期間にわたり移転される財	2,573,268	237,984	2,811,252	-	2,811,252
顧客との契約から生じる収益	3,147,091	237,984	3,385,075	-	3,385,075
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,147,091	237,984	3,385,075	-	3,385,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,147,091	237,984	3,385,075	-	3,385,075
セグメント利益又は損失(△)	7,048	△37,740	△30,692	-	△30,692

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書 計上額(注)
	プロフェッショナル	クラウド	計		
売上高					
一時点で移転される財	757,272	-	757,272	-	757,272
一定の期間にわたり移転される財	2,172,114	327,435	2,499,549	-	2,499,549
顧客との契約から生じる収益	2,929,386	327,435	3,256,822	-	3,256,822
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,929,386	327,435	3,256,822	-	3,256,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,929,386	327,435	3,256,822	-	3,256,822
セグメント利益又は損失(△)	△26,557	94,606	68,049	-	68,049

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「グロース」「トランスフォーメーション」の区分から、「プロフェッショナル」「クラウド」に変更しております。「プロフェッショナル」セグメントは、旧「グロース」セグメントのクラウド関連サービス以外及び、旧「トランスフォーメーション」セグメントから構成されており、「クラウド」セグメントは、旧「グロース」セグメントのクラウド関連サービスによって構成されております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分により作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	116,400千円	13,111千円
のれん償却費	53,172	53,172

(重要な後発事象)

該当事項はありません。